

総務協議会協議事項

〔 日時 令和3年8月20日(金)
午前10時
場所 第一委員会室 〕

○ 所管事項の報告について

- 1 八戸市美術館の企画について
- 2 八戸市個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定に係る専決処分について
- 3 災害時における飲料の供給に関する協定の締結について
- 4 八戸市市税条例の一部改正（案）の概要について
- 5 八戸港沖パナマ籍貨物船海難事故について

八戸市美術館の企画について

1. 開館記念「ギフト、ギフト、」について

(1) 内容

八戸を代表する祭りである八戸三社大祭を出発点に、アートを通して「ギフト」の精神を見つめる展覧会とプロジェクトを開催。地域のリサーチから着想を得た新作や浮世絵などの多彩な作品の展示や、作品や地域への学びを深めるプロジェクトを全館で展開する。

(2) 会期

令和3年11月3日（水祝）～令和4年2月20日（日）

(3) 参加アーティスト・コレクション

浅田政志（写真家）、江頭誠（現代美術家）、大澤未来（映像作家）、大西幹夫（切り絵作家）、KOSUGE1-16（現代美術家）、田附勝（写真家）、田村友一郎（現代美術家）、西澤徹夫・浅子佳英・森純平（八戸市美術館設計者）、八戸クリニック街かどミュージアム浮世絵コレクション、榎本佳子（陶芸家）、向井山朋子（ピアニスト・美術家）

(4) 観覧料

区分	観覧料	団体料金 (20名以上)
一般	1,300円	1,100円
高校・大学生	700円	500円
小・中学生	200円	100円

- ・未就学児、八戸市内及び近隣町村（三戸町、五戸町、田子町、南部町、階上町、新郷村、おいらせ町）の小・中学生は無料
- ・市内の65歳以上の方、障がい者手帳をお持ちの方とその付添い者1名は半額

(5) 関連アートファーマープロジェクト

プロジェクト名	期間	内容
向井山朋子パフォーマンス「gift」	令和3年10月～11月	ピアニストの向井山朋子氏と共にパフォーマンスを行う
かだるアート浮世絵／山車編	令和3年11月～令和4年2月（月1回程度）	浮世絵文化や山車造形について学び、語り、深め合うプロジェクト
種さがしラボ	令和3年11月～令和4年2月（月1回程度）	100年後の八戸を創造するための種を探すアイデアミーティング

2. 開館記念以降の展覧会・企画について

(1) 八戸市美術館コレクション展（仮）

約5年ぶりに八戸市美術館のコレクションを展示。コレクションの歴史や、土地・人とのつながりを紹介し、これからのコレクションのあり方を考える展覧会となる。

■会期：令和4年3月19日（土）～6月上旬

(2) まるごと馬場のぼる展 描いた つくった 楽しんだ ニャゴ!

絵本「11 ぴきのねこ」シリーズで知られる、三戸町出身の漫画家、馬場のぼる氏の絵本や漫画の仕事に加え、50年分のスケッチブック、交友関係、楽しみのために制作した絵画や立体作品などを紹介する。また、漫画に熱中していた青少年時代の作品や資料、中学生の頃を振り返って描いた自伝漫画などを通してルーツをたどる。

■会期：令和4年7月2日（土）～8月28日（日）

■備考：練馬区立美術館（令和3年7月25日（日）～9月12日（日））ほか、全国巡回予定

(3) 佐藤時啓展 八戸マジック・ランタンー幽かな光ー（仮）

写真家の佐藤時啓氏が平成28年から八戸に通い、撮影した写真作品を中心とした展覧会。マジック・ランタン（幻灯機）などの光学装置をテーマにした作品や、最新の技術を使用した作品など、カメラや写真に関する様々な機器や現象を利用した作品を展示する。

■会期：令和4年10月下旬～令和5年1月上旬

八戸市美術館記念

浅田政志
 江頭誠
 大澤未来
 大西幹夫
 KOSUGE1-16
 田附勝
 田村友一郎
 西澤徹夫・浅子佳英・森純平
 八戸クリニック街かどミュージアム
 榎本佳子
 向井山朋子

ASADA Masashi
 EGASHIRA Makoto
 OSAWA Mirai
 ONISHI Mikio
 KOSUGE1-16
 TATSUKI Masaru
 TAMURA Yuichiro
 NISHIZAWA Tezzo,
 ASACO Yoshihide,
 MORI Junpei
 HACHINOHE
 CLINIC MACHIKADO
 MUSEUM
 MASUMOTO Keiko
 MUKAIYAMA Tomoko

八戸市美術館

八戸市美術館
 Hachinohe Art Museum



Hachinohe
 Art Museum
 Opening

11/3 ^{水祝}
 開館!

2021年11月3日「水祝」↓2022年2月20日「日」

Photo: Daici Aino

八戸市
美術館
開館記念



Hachinohe Art Museum Opening Gift, Gift,

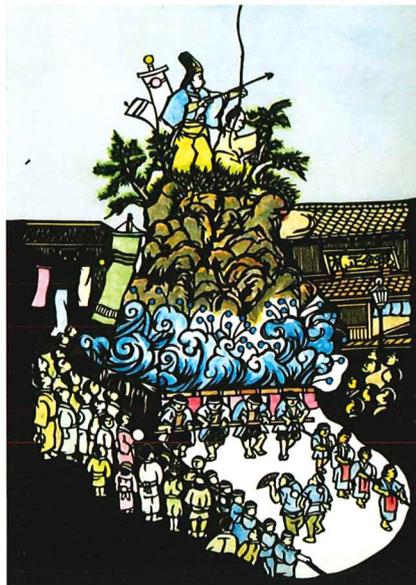
ギフト
ギフト
ギフト



浅田政志《浅田家》(消防士) 2006 [参考図版]



KOSUGE1-16《モ子Ωスクランブル》
2018 ©都築憲司 [参考図版]



大西幹夫《八戸三社大祭絵巻》2021



歌川国芳《坂田怪童丸》天保7年(1836)頃
八戸クリニック街かどミュージアム蔵 ※浮世絵は展示替えあり



向井山朋子《A Live vol.2 : Canto Ostinato》
2020 ©Tomoko Mukaiyama+Reinier van Brummelen [参考図版]



江頭誠《神宮寺宮型八棟造》
2015 画像提供 | 川崎市岡本太郎美術館 [参考図版]

八戸市美術館は、「種を蒔き、人を育み、100年後の八戸を創造する美術館～出会いと学びのアートファーム～」をテーマに、2021年11月3日(水・祝)に生まれ変わって開館します。

開館記念では、八戸を代表する祭りである「八戸三社大祭」を出発点に、10組のアーティストと1つのコレクションを迎え、アートを通して「ギフト」の精神を見つめる展覧会とプロジェクトを開催します。

300年の歴史を誇る八戸三社大祭は、祈願成就の感謝を込めて行った神輿行列が始まりです。明治時代に、地域の人々の手で毎年つくり替えられる「風流山車」が加わったことによって、創造活動を介したコミュニティが生まれ、現在でも人々の支えあいが育まれています。過去から未来へ、人から人へと巡る「贈与=ギフト」は、これまでの社会で求められてきた価値とは異なる豊かさを、ここからの社会に生み出すヒントとなるでしょう。

本企画では、「ギフト」を道標に、地域のリサーチから着想を得た新作や浮世絵などの多彩な作品展示、作品や地域への学びを深めるプロジェクトが全館で展開されます。そこで出会うローカルかつ普遍的な「ギフト」の精神を、「100年後の八戸を創造する」ための種として見出し、あらゆる人々と共に育んでいくことで、新たな美術館は第一歩を踏み出します。

開館時間 | 10:00～19:00 [入場は18:30まで]
休館日 | 火曜日 [祝日の場合はその翌日]、
12月31日、1月1日
観覧料 | 一般1,300円 (1,100円)
高校・大学生700円 (500円)
小・中学生200円 (100円)

※()内は20名以上の団体料金 ※未就学児、八戸市内および近隣町村(三戸町、五戸町、田子町、南部町、階上町、新郷村、おいらせ町)の小・中学生は無料 ※市内の65歳以上の方、障がい者手帳をお持ちの方とその付添者1名は半額

Open hours | 10:00-19:00
entry up to 30 minutes before closing.
Closed | Tuesdays (except November 23),
November 24, December 31, January 1
Admission | Adults 1,300yen, High School and University Students 700yen, Elementary and Junior High School Students 200yen

主催 | 八戸市美術館 協賛 | 南部電機株式会社
協力 | 一般財団法人VISITはちのへ、八戸三社大祭運営委員会、八戸三社大祭山車祭り行事保存会、はちのへ山車振興会 後援 | NHK青森放送局、青森放送、青森テレビ、青森朝日放送、めんこいテレビ、八戸テレビ、デーリー東北新聞社、東奥日報社、エフエム青森、コミュニティラジオ局BeFM

ディレクター | 吉川由美
会場構成 | 西澤徹夫、浅子佳英、森純平
グラフィックデザイン | 加藤賢策 (LABORATORIES)

問い合わせ | 八戸市美術館
〒031-0031 青森県八戸市大字番町10-4
TEL: 0178-45-8338 FAX: 0178-24-4531
MAIL: art@city.hachinohe.aomori.jp
公式HP: <https://hachinohe-art-museum.jp>

アートファームプロジェクト

かだるアート 浮世絵/山車編

浮世絵文化や山車造形について学び、語り、深めようプロジェクト。
期間 | 11月～2月(月1回程度)

種さがしレガロ

100年後の八戸を創造するための「種」を探すアイデアミーティング。
期間 | 11月～2月(月1回程度)

向井山朋子

パフォーマンス「gift」

ピアニストの向井山朋子と共にパフォーマンスを行います。
期間 | ～11月 公演日 | 11月14日 [日]
※プロジェクトの詳細、関連イベントについては公式HPをご覧ください。



アクセス
電車 | 東北新幹線「八戸駅」よりJR八戸線「本八戸駅」下車(約10分)→徒歩(約10分)。
バス | 東北新幹線「八戸駅」東口より中心街方面乗車、中心街ターミナル下車(約20分)→徒歩(約3分)。
※一般駐車場はございません(障がい者用2台あり)。

至八戸駅	本八戸駅	JR 八戸線	至久保駅
	八戸市公会堂 八戸市庁 市庁前工	■ 南部会館 ■ 青森銀行 ■ 八戸市美術館 Hachinohe Art Museum	八戸ランドホテル
三日町 はっち ■ さくら野	八日町 国道340号	■ マチニワ ■ 八戸ブックセンター ■ センター	
横みづく		六日町	

連携企画
展覧会
会場 | 八戸クリニック街かどミュージアム
会期 | 10月2日[土]～11月28日[日]

八戸市美術館
Hachinohe Art Museum



八戸市個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定に係る 専決処分について

1 改正の理由

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律(以下「番号法」という。)の一部改正に伴い、規定の整理をするため、地方自治法第180条第1項の規定により専決処分したもの。

2 改正の内容

(1) 概要

- ① 特定個人情報に係る情報連携を行うための情報提供ネットワークシステムの管理が総務大臣から内閣総理大臣に変更(番号法第21条)されたことから、八戸市個人情報保護条例に規定している特定個人情報を訂正した場合における同システムの情報提供等記録に係る通知先についても同様に変更したもの。
- ② 特定個人情報に係る情報連携のできる事例を規定している番号法第19条に第4号が追加されたことから、八戸市個人情報保護条例で引用している番号法第19条第7号及び第8号について、それぞれ1号ずつ繰り下げる改正をしたもの。

(2) 施行期日

令和3年9月1日

3 処分年月日

令和3年8月6日

災害時における飲料の供給に関する協定の締結について

1 趣 旨

市が、災害時に応急対策を円滑に実施できるよう、(株)ミチノクに対して、飲料の供給を要請する際の手続き等について定めたものである。

2 締結相手

(株)ミチノク 代表取締役社長 上野 昭則
本 社 岩手県奥州市水沢工業団地三丁目 84
八戸支店 青森県八戸市北白山台二丁目 9-16

3 概 要

災害時に、市が飲料水等の調達が必要と判断した場合に、(株)ミチノクに対して飲料の供給を要請し、それを受け、(株)ミチノクは、市の指定する場所に速やかに飲料を供給する。

また、情報伝達を円滑に行うことができるよう連絡体制を整備する。

4 締結日

令和3年7月29日(木)

八戸市市税条例の一部改正（案）の概要について

1 改正の理由

地方税法等の一部改正に伴い、個人市民税に係る見直しをするためのものである。

2 改正の主な内容

《個人市民税》

(1) 均等割及び所得割の非課税限度額に係る扶養親族の範囲の見直し

個人市民税の均等割及び所得割の非課税限度額について、その基準の判定に用いる扶養親族を、年齢16歳未満の者及び控除対象扶養親族に限定する。

(2) 寄附金税額控除の対象となる寄附金の範囲の見直し

特定公益増進法人等に対する寄附金控除について、その対象となる寄附金から出資に関する業務に充てられることが明らかな寄附金を除外する。

(3) 医療費控除の特例措置の延長

特定一般用医薬品等（※1）購入費を支払った場合の医療費控除の特例（セルフメディケーション税制（※2））について、適用期限を5年延長して令和9年度までとする。

※1 医師によって処方される医薬品から、ドラッグストア等で購入できるOTC医薬品に転用された医薬品（スイッチOTC医薬品）のこと。

※2 年間購入費が12,000円を超えると、その超えた金額を控除（上限88,000円）するもの。

3 施行期日

令和4年1月1日、ただし（1）は令和6年1月1日

八戸港沖パナマ籍貨物船海難事故について

1 事案の概要

- ・ 8月11日（水）、午前7時50分、八戸港内の防波堤外側を航行中のパナマ籍貨物船「CRIMSON POLARIS（クリムゾン ポラリス）」から、「八戸港内で乗り揚げた」旨、第二管区海上保安本部へ通報があった。
- ・ 同日、午後7時頃までに乗組員総員（21名）は八戸海上保安部のヘリコプターにより救助
- ・ 8月12日（木）、午前4時15分頃、船体が亀裂により破断し、燃料油が流出

2 船舶の概要

- (1) 船種船名：貨物船「CRIMSON POLARIS」
- (2) 船 籍：パナマ
- (3) 乗組員：21名（中国人8名、フィリピン人13名）
- (4) 総トン数：39,910トン
- (5) 搭載油：燃料油約1,675トン、潤滑油4.3トン
- (6) 積 荷：ウッドチップ44,035トン

3 油の流出状況（海上保安庁）（八戸市分）

(1) 流出油の範囲

日	状況
8月12日（木）	船体から北北西方向へ長さ約24.3キロメートル、最大幅約800メートルの範囲に浮流油を確認
8月17日（火）	船体から北西方向に約2キロメートル、幅約500メートルの帯状の範囲に浮流油を確認
8月19日（木）	船首部から新たな油の流出を認めず。船尾部から南東方向に筋状の薄い油膜を認めるも、船尾部付近で、巡視船等の航走攪拌により消滅しつつある。

(2) 漂着油の範囲

日	状況
8月14日（土）	奥入瀬川河口南に漂着を確認
8月15日（日）	市川船溜、三菱製紙八戸工場護岸付近に漂着を確認
8月16日（月）	奥入瀬川河口から五戸川河口にかけての範囲、市川船溜、八戸港八太郎4号ふ頭で漂着を確認

4 現在の主な対応状況

(1) 海上保安庁・船主他

① 船体対応

- ・海上保安庁・船主：巡視船・航空機等による警戒・監視（11日～）

② 浮流油対応

- ・海上保安庁：巡視船等による航走及び放水による拡散（12日～）
- ・北陸地方整備局：大型浚渫兼油回収船「白山」による浮流油回収（13日～）
- ・船主（海上災害防止センター）：タグボートによる浮流油回収・防除作業（12日～）
- ・東北地方整備局：漂流油防除作業（19日～）

③ 漂着油対応

- ・船主（海上災害防止センター）：沿岸調査、海岸清掃（13日～）

(2) 県

- ・8月12日（木）、午前4時15分、「八戸沖外国貨物船座礁に係る青森県災害警戒本部」設置
- ・8月15日（日）、各県民局において、奥入瀬川及び五戸川河口にオイルフェンス設置
- ・その他、各県民局において、海岸線の現場確認等

(3) 市

① 体制

- ・8月14日（土）、12時（正午）、流出油が市川方面に漂着する可能性が高まったことから、「八戸沖外国貨物船座礁に係る八戸市災害警戒本部」を設置し、全庁的な警戒態勢に移行
- ・同日、午後より、八戸海上保安部へ職員2名をリエゾン（情報連絡員）として派遣。以降、午前・午後の2回派遣し、情報収集・共有を行う。

② 油等の漂着状況把握（海岸パトロール等）（防災危機管理課、港湾河川課、観光課、環境政策課、社会教育課、消防本部）

日時	内容
8月12日（木）	・防災危機管理課において、市川方面（奥入瀬川～市川船溜）を巡回
8月13日（金） ～	・防災危機管理課において、市川方面（奥入瀬川～市川船溜）を巡回 ・消防本部において市川方面を午前・午後に巡回
8月16日（月） ～	・巡回体制強化のため、消防本部と関係課（防災危機管理課、港湾河川課、観光課、環境政策課、社会教育課）による巡回体制とし、市域海岸線全体（奥入瀬川河口から金浜まで）について巡回を実施（午前・午後の2回実施） *環境省及び三八地域県民局と連携・情報共有しながら実施

③ 市民への広報（防災危機管理課）

- ・ 8月12日（木）、12:12 防災行政無線（市川地区8局）、ほっとスルメールにより注意喚起
- ・ 8月14日（土）、12:48 再周知（上記と同様）

④ 学校関係（教育指導課）

- ・ 8月18日（水）、9:00 市立全小・中学校あてに児童生徒の安全確保にかかる注意喚起

⑤ 海水浴場（観光課）

- ・ 浮流油の状況を踏まえ、白浜・蕪島両海水浴場を19日（木）から閉鎖

⑥ 水産関係（水産事務所）

- ・ 所管する第1種漁港である南浜漁港（白浜地区、深久保地区、種差地区、大久喜地区、金浜地区）の油の漂着及び油臭の確認
- ・ 沿岸漁協の被害状況に関する情報収集

5 当市への影響・被害について

- ・ 南浜漁協の定置網4ヶ統に油の付着を確認。操業に支障が出ているが、詳細な影響及び被害等は今後の調査による。（水産事務所）
- ・ 南浜漁港のうち、白浜地区、深久保地区、種差地区、大久喜地区において、港内への油の漂着を確認（水産事務所）

6 今後の対応等（見込み）

【船体対応】

- ・ 船主手配のサルベージ会社による船体船固め、油抜き取り作業を予定（時期未定。準備出来次第着手）

【市】

- ・ 油等の漂着状況等を把握するため、関係機関と連携し、海岸パトロールを継続（防災危機管理課、港湾河川課、観光課、環境政策課、社会教育課、消防本部）
- ・ 海域の水質調査を予定、測定時期・測定項目等調査内容を調整中（環境保全課）
- ・ 南浜漁港の油の漂着状況の確認、沿岸漁協の被害状況に関する情報収集（水産事務所）

クリムゾン ポラリスの監視状況



写真 1 船体破断直後の状況(8月12日午前7時頃)



写真 2 重油の流出状況(8月12日午前7時頃)

クリムゾン ポラリスの監視状況



写真3 C号船尾側の状況(8月19日午前6時頃)

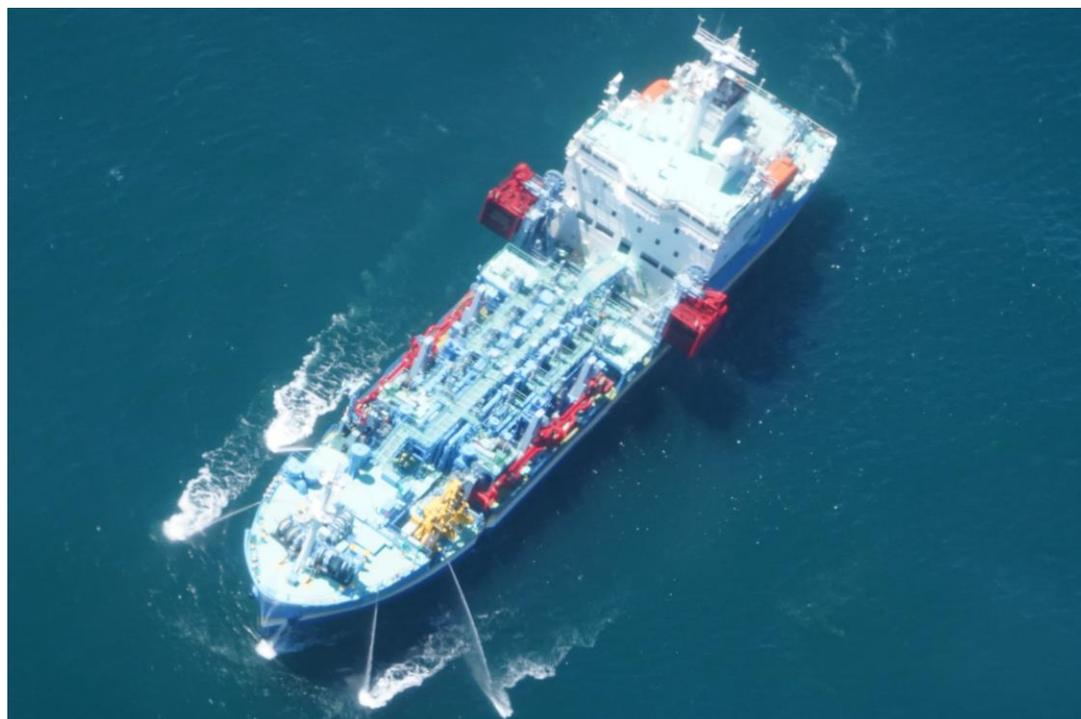


写真4 北陸地方整備局「白山」による放水拡散の状況(8月19日正午頃)